



いよいよ運動会

園長 立石 晃子

つい先日までは猛暑との戦いをしていたのに、いつの間にか朝夕が涼しい季節に変わりました。空はもくもくとした積雲から薄く空をベールで覆うような巻層雲へと変化しています。

2学期に入り、それぞれの学年、発達段階がありますが、共通して子供たちに「相手を受け入れる余地」がうかがえる場面がありました。年少もも組では、天井から吊るした輪の間に新聞ボールを投げ入れることに挑戦していた子がいました。宙ぶりの輪はくるくると動き定まりません。そこへ「手伝ってあげるよ」と輪を押さえた子がいました。できることが増え何でも自分でやりたい、と思うようになる年少児なので、「やらないで」と言うのかな、と思って見ていると、「ありがとう」と友達の好意を受け入れていました。受け入れてもらったお友達も嬉しそうな表情を見せていました。年中たんぼぼ組では、昼食の時間になると、涼しくしている職員室に置いておいた弁当を取りに来ています。みんなの弁当が入ったかごは重いのですが、重いかごを運ぶことがうれしい時期です。始めは一人でかごを運びたくて、急ぎ支度を済ませて職員室に取りに来たところに友達も来ると「いいよ！一人で運ぶから」「いいじゃん！二人で運ぼうよ」と言い合う姿がありました。最近では友達と一緒に運ぶことを受け入れ、一人早く来ても友達を待つようになり、「こっち持って」とバランスを取り合ったりするようになりました。年長ばら組では、毎日のようにリレーに取り組んでいます。友達が一生懸命に走る様子を見て、「がんばれ！」と応援したり、抱き合って喜びを分かち合ったりする姿があります。一方で、負けてしまってとても悔しがる場面や勝った嬉しさから相手を傷つけてしまう言葉が聞かれる場面もありました。担任はその都度、友達の思いを想像してみる、相手に対して自分ができることは何かを考える時間をつくっています。担任の話聞きながら子供たちは、自分はどうかと考えているのか、真剣な表情を浮かべていました。1学期からの友達との関係が積み上がったからこそ、また、教師が「自分の思いを表すこと」と「相手の思いに気付くこと」を大切に、指導を重ねてきたからこそ、自分を出せる安心感をもち、相手の人となり分かり、安心して受け入れたり任せたりすることができるようになってきたように感じられました。

今月はいよいよ運動会です。子供たちの頑張りとともに、担任や友達との積み上げてきた関係も感じていただけると嬉しいです。

楽しいこといっぱい！子どもたちの園生活

< 3 歳もも組 >

みんなで走ったり踊ったりするの楽しい！もう一回やろう！

二学期が始まり、もも組の壁面には思い出の花火が打ちあがりました。9 月半ばのオンラインなかよし会では画面上の祖父母の方を見つけると笑顔で手を振って会えたことを喜び、自己紹介をしたり歌や踊り姿を披露したりしました。また手紙を書いて郵便局前のポストへみんなで投函しに行きました。

園庭に出ると、「よーいどん！しょう」と子供たちの誘いがあります。園庭の端から端まで、汗をかきながら何往復も走る姿があります。ほかにフープを使って色鬼をしたり COT をしたり、みんなで一緒に体を動かして遊ぶことを楽しんでいます。10 月はいよいよ運動会があります。年中児や年長児と一緒に体を動かしたり練習する姿に憧れを抱いたりして、教師や友達と一緒に楽しく運動会に参加できるように取り組んでいます。

< 4 歳たんぼぼ組 >

身体を動かすことに夢中！

二学期が始まり、元気いっぱいほじける笑顔で登園してきた子供たちは、久しぶりに会った友達と楽しく遊び始めました。「うちゅうごっこ」「おばけごっこ」と一学期に遊んでいたものや、「バーベキューごっこ」「花火」と夏休みに経験したことを楽しむ姿があります。園庭では、花を使った色水遊びを楽しんだり、バッタやトンボを見付けたり、カマキリを世話したりと秋の自然を感じています。

COT で体を動かす楽しさを感じたり、友達と一緒に踊ったり、玉入れをしたりと、どれも笑顔いっぱいで行っています。運動会に向けても、「この踊り、大好きだからおうちの人に見せたいな！」「玉入れ、もっと入るといいな。」とそれぞれに目標をもって取り組む姿も出ています。年長児と一緒にパラバルーンやかけっこを通して憧れを持つ様子もあります。体を動かすことが心地よく感じられる季節です。思う存分、体を動かして遊んでいます。

< 5 歳ばら組 >

踊って、走って、楽しんで...「カッコいい運動会にしたい！」

5 月から度々取り組んできたりレー。夏休みを越し、子供たちの走り方が着実に力強くなっています。体力面はもちろんですが、「勝ちたい！」「早く走りたい！」「友達を抜かしたい！」などの気持ちが大きく成長してきたことがよく分かります。そしてもう一つ、自分だけのことでなく、チームの友達と力や思いを合わせることが、みんなの力を倍増させているのでしょうか。子供たちの作戦会議の内容も日に日に変わってきています。

二学期に入り、COT を短期的に集中して取り組んでみました。身のこなし方だけでなく、踊りや歌などの習得が早いこと、そしてリズムでの大きな隊形移動も一度の説明でさらっとできたことに驚きました。空間認知能力が刺激されたのでしょうか。そんなこんなで、運動会に向かう子供たちは、「ばら組だから、カッコいい運動会にしたい！」と自ら言い、「もっとこうしたらどう？」「ピッと伸ばすとカッコいい！」などと、互いに声をかけながら運動会に向かっていきます。子供たちの「こうありたい」を大事にしなが自信へとつなげ、他学年との交流に活かしていきます。